

ハラスメント相談センター便り

梅雨ですね。じとじとと過ごしにくい季節ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？今回はモラル・ハラスメントについてご紹介します。



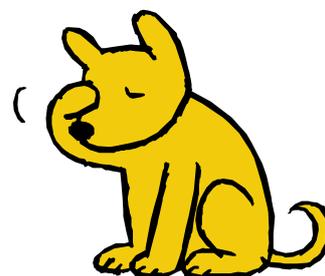
モラル・ハラスメント

言葉や態度によって相手の心を傷つける精神的な、倫理的な暴力、嫌がらせのこと。フランスの精神科医、イルゴイエンヌが提唱しました。パワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメントと重複する部分が多いですが、モラル・ハラスメントという観点から見ることができます。

具体例

仕事に関連して相手を傷つける言動をする。

- ・ 仕事に必要な情報を与えない。
- ・ 相手の意見に全て反対したり、必要以上に批判する。
- ・ 電話やFAX、パソコンなど仕事に必要な道具を与えない。
- ・ 普通だったらその人に任せる仕事を他の人にさせる。
- ・ 職務上、相手の責任になるような失敗を引き起こす。



コミュニケーションを拒否して相手を孤立させる。

- ・ 特定の人物にだけ挨拶をしない、話しかけない、飲み会に誘わない。
- ・ 一緒にいても、他の人たちだけに話しかけて、存在を無視する。
- ・ メモや手紙、メールなど書いたものだけで意志を伝える。
- ・ 目を合わせないなど、あらゆるコンタクトを避ける。
- ・ 話し合いの要求に応じない。

相手の尊厳を傷つける言動。

- ・ 侮辱的な言葉で相手に対する評価を下す。
- ・ 溜息をつく、馬鹿にしたように見る、肩をすくめるなど、軽蔑的な態度をとる。
- ・ 標的にした相手について、信用を失わせるようなことを周りに言う。
- ・ 私生活を批判する。
- ・ 相手が屈辱だと感じる仕事をさせる。

言葉による暴力、肉体的な暴力、性的な暴力。

- ・殴ってやると言って相手を脅す。
- ・わざとぶつかったり、目の前でボタンとドアを閉める。
- ・大声でわめいたり、怒鳴りつける。
- ・頻繁に電話をかけたり手紙を書いたりして、相手の私生活に侵入する。
- ・相手の後をつける、待ち伏せをする。
- ・セクシュアル・ハラスメント的な言葉や態度をする。
- ・相手の健康上の問題を考慮に入れない。

一つ一つの事は大したことが無いようなことでも、このような行為に繰り返してしまえば、そのストレスによってうつ状態、心身症（ストレスからくる頭痛や下痢などの身体的な不調）に陥ってしまうこともあります。加えて、仕事のモチベーションや効率が落ちてしまうこともあります。また、このような被害に遭った人は「自分が悪かったんじゃないか、自分がこう返事していれば」という気持ちになることが多いようです。

このような行為をしてしまう人は、相手を傷つける行為だと意識していないこともあるようです。一人一人がこのような行為をしないように気をつけて、皆が働きやすい職場環境を作りましょう。

ハラスメント相談センターでは、各種ハラスメントに関する相談を受け付けています。心の整理や解決方法を一緒に考えます。

名古屋大学 ハラスメント相談センター
東山キャンパス 工学部7号館B棟2階
開室 月～金曜日（祝日を除く）9:00-17:00
TEL 052-789-5806 FAX 052-789-5968
E-mail h-help@post.jimu.nagoya-u.ac.jp（東山・鶴舞共通）

鶴舞分室
鶴舞キャンパス 旧西病棟452
開室 火曜日（祝日を除く）
9:00-17:00
TEL 052-744-2827

東山キャンパス
の相談室



当センターに関する詳しい内容はホームページで。

検索⇒[名古屋大学ハラスメント相談センター](#)